

甲状腺外科草子 98

西洋医学伝播：津山(前)

杉野 圭三

津山市は岡山県北部の人口約 10 万人の都市であり、中国地方における洋学発祥の地として有名となった。



津山市



津山城からの街並みの眺望

岡山市から津山までは JR 津山線快速でも 1 時間 10 分以上かかり、高速道利用でも意外と時間がかかる地域である。

津山は森忠政、越前松平家が支配した重要な都市で、津山城の桜はその美しさから全国的に有名である。城の入口には森忠政 (1570 - 1634) の銅像が鎮座している。



森忠政像



森可成



森長可



森蘭丸

忠政は森可成 (1523 - 1570) の六男で兄の森長可 (1558 - 1584) が小牧・長久手の戦いで戦死したため家督相続し、豊臣方の大名となった。その後、徳川家康に接近し、関ヶ原では東軍として戦った。

本能寺で信長と共に討たれた森蘭丸は森可

成の三男で忠政の兄となる。

忠政は信濃川中島藩主となったが、検地による増税に不満を持つ領民による一揆が起こった。その際に苛烈な処罰を行い、磔刑などで 600 人以上を処刑したと記録される。

津山への転封後も再び領内で一揆が起こり、また重臣たちの間での争いも記録され、忠政の政治手腕に問題があると言わざるを得ない。

森家断絶後は越前松平家が越後騒動後に転封され、明治まで続いた。

津山城は小高い丘の上に築かれ、川沿いの城下町から昇ると壮大な石垣が築かれ、坂の途中には多くの桜が植えられ、さぞかし桜の季節には美しかろうと感心した。天守閣は現存しないが、櫓が再建され城郭の面影が残っていた。城址から眺める城下町の眺望は最高であり、殿様気分が味わえる。



城のシンボル「備中櫓」



壮大な 45m の石垣

江戸時代後期に、この地においてオランダからの洋学 (蘭学) 研究が盛んとなり、多くの優れた学者を輩出している。

最近、西洋医学の貴重な資料が「津山洋学資料館」に寄贈されたとのニュースを目にし、この地を訪れることとした。(続く)

参考：Wikipedia など

(一甲状腺外科医の徒然なる随想)

2024 年 4 月 17 日